



**APEV**

**電気自動車普及協議会**

**Association for the Promotion of Electric Vehicles**

**【Press Release】**

**会員、報道機関 各位**

**“EVS27”in バルセロナ 参加報告(その1)**

2013年12月9日

電気自動車普及協議会(APEV)

代表幹事 田嶋 伸博

幹事 鈴木高宏

拝啓 皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、2013年11月19日、20日にかけてスペイン・バルセロナで開催されましたEVの国際会議EVS27に当協議会の幹事である東京大学生産技術研究所 准教授 鈴木高宏 が参加しましたので、ご報告致します。

会議名称: The 27th International Electric Vehicle Symposium & Exhibition (EVS27)

開催日時: 2013年11月18日~20日

会場: Gran Via Exhibition Centre, Barcelona, Spain

**1. EVSの歴史**

1969年の第1回に始まるEVの国際会議としてはおそらく最も歴史が古く最大規模の会議の一つと考えられます。概ね約2年おきに、北米、欧州、アジア(日中韓)の3極が交替で主催し開催されています。

**2. 参加の主な目的**

最終日11月20日の閉会式において、EVに関する優れた取組を行っている都市に授与されるE-visionary Awardを五島列島(五島市・新上五島町)が受賞することとなり、授与式に参列する五島市副市長に伴い、そのサポートを行いました。

その機会に海外、特に欧州におけるEV関連の動向の調査も行いました。

**3. E-visionary Award 受賞について**

E-visionary awardはEV普及や導入により持続的な社会を作ろうとする優れた取組を行っている、北米、欧州、アジアの3極の各1都市に対し、EVS開催の機会に送られる栄誉ある賞です。アジアに関しては、前回EVS26ロサンゼルス大会では韓国ソウルが、EVS25深圳大会では開催地の中国・深圳市が、その前EVS24では大阪府が受賞しています。

今回については、北米はインディアナポリス市が、欧州はスペイン・マラガ市が、そしてアジアからは長崎県の五島列島(五島市および新上五島町)が受賞しました。

五島列島については、日本は日産リーフや三菱アイミーブなど EV を製造し世界各国に広めることに大いに努めてきましたが、さらにそれらの EV をより便利に快適に使えるようにする取組として、高度な情報ネットワークを導入し携帯やインターネットを通じて観光と合わせた EV 向けの情報提供を行うなど、実に優れた取組を行っていることが大きな受賞理由です。推薦を担当した JARI(日本自動車研究所)の関係者から聞いた話では、先に IEA が発行した EV City Casebook に掲載されたことが推薦の大きなきっかけとなったようです。

EV City Casebook における長崎県五島列島の記載については、筆者が長崎県に在籍していた当時に執筆したものであり、その点も含め筆者にとっても大きな栄誉と感じています。

また長崎 EV&ITS プロジェクトにおいて仕様設計から始め新たに地元での構築を行った情報ネットワークシステム(「長崎みらいナビ in 五島」)が評価された点も非常に大きいと思います。

この栄誉を糧に、国内外その他の地域においてもこうした知見・経験を活かして今後貢献していきたいと考えています。

なお、その他の受賞都市に関しては、特にマラガは、スペインにおける危機的な経済状況にありながら、身の丈にあった様々な取組により小都市において大きな効果を得ていることが受賞理由であり、こうしたより小さな地域での取組が今後ますます注目されていくことが考えられます。

受賞者は、クリスタル製で地球をあしらったトロフィーを各極の代表者からそれぞれ受取り、その栄誉に伴う責任の重さを実感したものと考えられます。



中野 五島市 副市長 受賞

また、受賞後の講演では、中野五島市副市長は五島の美しい自然の魅力の一方で厳しい人口減少の状況、それを打開するための世界遺産登録活動とそれをきっかけとした EV 導入と実運用の取組みを述べ、さらにそこから現在では浮体式洋上風車の実証実験など海洋再生可能エネルギー開発の先端的実証拠点となっていること、そして EV については今後高齢者向けなど超小型モビリティの実証フィールド形成などの展望について語り、20 年ぶりの英語と言いながらも、その講演ぶりは実に堂々としたものでありました。

今回の受賞をきっかけに、五島のような地域が自発的・自立的に EV を活用した新たな地域活性化・地域振興のモデル構築にさらに邁進されることを大いに期待したいと思いますとともに、APEV の活動を通じて国内外各地域におけるこうした取組に微力ながら貢献していきたいと思っています。

(次回に続く)

続報では、EVSにおける展示、講演発表などから目を引いたものを報告していきたいと思えます。

以上

---

**\* 電気自動車普及協議会では引き続き、会員を募集しております。**

お気軽に事務局までお問い合わせください。

**お問い合わせ先:**

電気自動車普及協議会 (Association for the Promotion of Electric Vehicles : APEV)

事務局 安嶋 言一郎 (ヤスジマ ゲンイチロウ)

〒160-0023 新宿区西新宿 6-10-1 日土地西新宿ビル 8F

電話: 050-3736-8325 E-mail: [info@apev.jp](mailto:info@apev.jp) Website: [www.apev.jp](http://www.apev.jp)